

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			
	2	職員の配置数は適切であるか			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			
	35	個人情報に十分注意しているか			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R5年 3月 日

事業所名 いっぽのひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動の人数に応じて部屋を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		受け入れ予定が今のところはないこともあり、トイレ等の不備はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	4		可能な限り行うようにしているが不十分。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	アンケート結果には目を通している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	事業所内で研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	活動計画を立てる時間を設けている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		週案を立て、活動が偏らないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		個別活動については明記していない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		朝礼にて行うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	勤務時間が異なるので、その日や翌日の支援に入るまでにできるよう努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4			該当児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			児発から継続しての放デイ利用であるため、職員間での把握はできている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2			該当児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3			現在のところはなし。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6			同法人の児童クラブの子どもとの交流がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			迎えに来られた際、今日の様子等を伝えている。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			保護者の学びを定期的に行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1			父母の会は発足していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			月1回おたよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		コロナのため行っていない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		保護者への周知が足りていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		夏休み、冬休み等に訓練をおこなっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			重要事項説明書に記載しているが、個別に対応が必要な児童はなし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーがある児童に対しては、おやつを持参の協力をお願いしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		事故報告書は記載しているが、ヒヤリハットはあまり活用していない。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: R5年 3月 日

事業所名 いっぽのひかり・ほし

保護者等数(児童数) 20 回収数 20 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1		2	・新しい先生が増えて分からなくなった。	新しい職員が入った際はおたより等でお知らせするように対応します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19			1		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	1			・伸ばしたいところ、よりよく改善したい課題を適切に設定して下さっていると思います。本人にとって今必要なことがよく分かります。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	1				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	2	1	3	・コロナで仕方なかったと思う。 ・友達が増えたと、本人も感じていて、交流を楽しみにしています。	隣接する場所に同法人の放課後児童クラブがあり、日常的に交流を行っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19			1	・迎え時にその日の活動について話して下さり、とても安心しています。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1		1	・子どもの言動の小さな変化を敏感に感じ取り、支援して下さっていると感じています。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18			2	・困り感があればすぐ相談にのって下さり助かっています。 ・親の子育てへの迷いや悩みに対して深く寄り添い、助言を下さってありがたいです。	相談等がある際は対応いたします。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	3		1	・コロナ化になってからなかなか難しいところがある。	コロナの影響もあり、茶話会が開催できていませんでした。今後は状況を見て検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		4	・その場を経験していないので、苦情等の経験がないため分かりません。	苦情があった場合には対応を行います。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	1		・新しい先生が入られた時におたよりや貼紙等で名前の紹介をしてもらえると、今よりももっと意思疎通や情報伝達が回りやすいと思う。	新しい職員が入った際はおたより等で紹介します。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18			2	・いっぽぼよりも育児の学びや気づきがありました。	
14 個人情報に十分注意しているか	19			1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	4	1			それぞれのマニュアルは作成しています。今後、総会の時などに周知・説明をしていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2		1		長期休暇時に避難訓練を行っています。ただし、子どもの利用日と重ならない場合もあります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	20				・子ども2人お世話になっていますが2人とも大好きな場所です。 ・通所を楽しみにしています。学んだことを家庭や学校で本人なりに考えて生かそうとしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	20				・児童から通ってよかったです。 ・専門性を持ってここに対応してくださり、感謝の日々です。 ・個に応じた丁寧な支援に感謝しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。